

朝来市景況調査書

令和元年 上半期

(調査対象：平成 31 年 1 月～3 月)

朝来市商工会

令和元年 6 月

【目次】

I. 景況調査	2
1. 景況調査について	2
2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査）	3
3. 業種ごとの集計	4
①建設業（有効調査書数：51件）	4
②製造業（有効調査書数：61件）	6
③小売業（有効調査書数：89件）	8
④サービス業（有効調査書数：126件）	10
II. 需要動向調査	15
1. 需要動向調査について	15
①建設業	15
②製造業	17
③小売業	19
④サービス業	21
（参考文献）	23

I. 景況調査

1. 景況調査について

○本調査書作成の目的

朝来市内事業者が主要商圈とする朝来市地域、但馬地域、及び兵庫県内の経済動向を調査し、市内の業種別産業構造を把握することで、効果的な将来予測、及び経営計画の策定等に繋げる目的とします。

○本調査書の作成方法

朝来市商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報とも比較して調査書を作成します。

○『D.I.』について

D. I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、
「良い」20% - 「悪い」30% = -10%
となり、D. I. 値は-10 ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10 件	20%
不変	25 件	50%
悪い	15 件	30%
合計	50 件	100%

○参考とする調査書と有効回答数について

本調査書の作成にあたり、株式会社みなと銀行が四半期毎に実施する「兵庫県内中小企業の景況調査」、および但馬信用金庫が四半期毎に実施する「但馬管内の景気動向調査」の調査結果を参照しています。

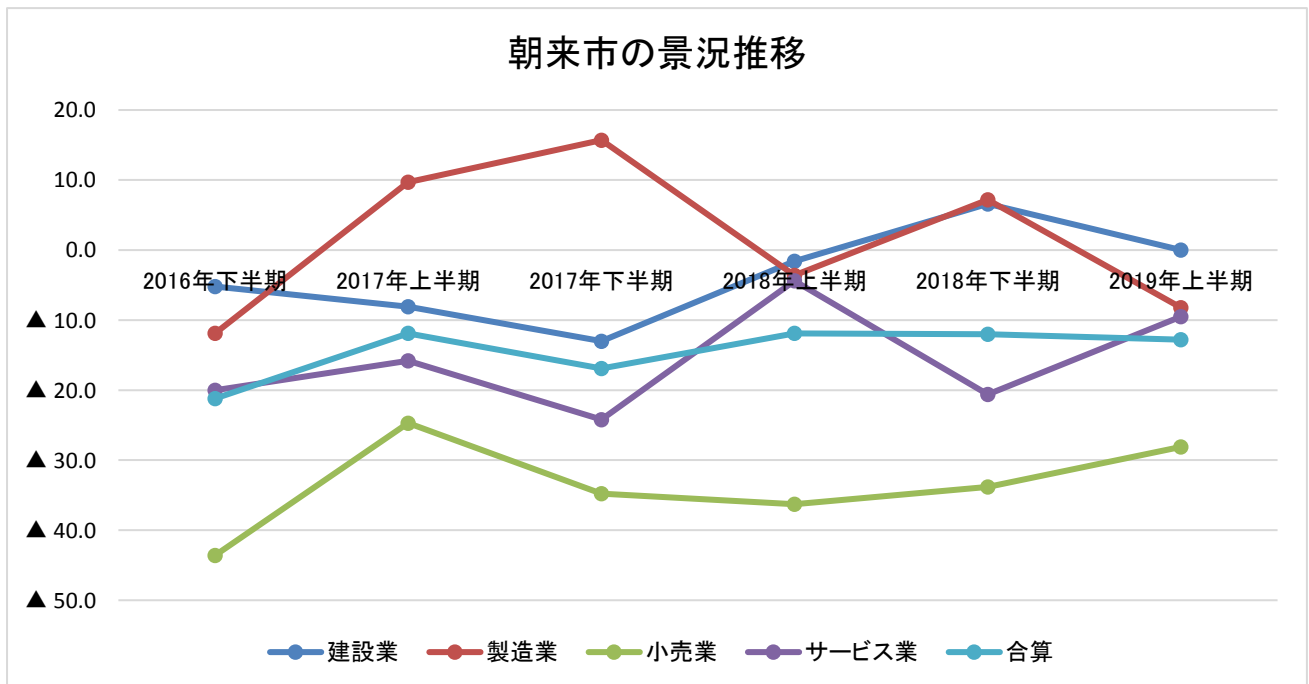
(対象期間における有効回答数)

	建設業	製造業	小売業	サービス業
兵庫県内中小企業の景況調査 (株みなと銀行)	370 件	224 件	73 件	120 件
但馬管内の景気動向調査 (但馬信用金庫)	82 件	74 件	61 件	128 件
朝来市景況調査書 (朝来市商工会)	51 件	61 件	89 件	126 件

○業種の分類について

本調査書では、朝来市内事業所における卸売業は「小売業」とあわせて、飲食・宿泊業等は「サービス業」とあわせて集計していますので、ご注意ください。

2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査）



	2016年 下半期	2017年 上半期	2017年 下半期	2018年 上半期	2018年 下半期	2019年 上半期
建設業	▲ 5.2 (57件)	▲ 8.1 (62件)	▲ 13.0 (54件)	▲ 1.6 (64件)	▲ 6.6 (61件)	▲ 0.0 (51件)
製造業	▲ 11.9 (59件)	▲ 9.7 (62件)	▲ 15.7 (51件)	▲ 3.6 (55件)	▲ 7.2 (69件)	▲ 8.2 (61件)
小売業	▲ 43.6 (71件)	▲ 24.7 (93件)	▲ 34.8 (66件)	▲ 36.3 (80件)	▲ 33.8 (71件)	▲ 28.1 (89件)
サービス業	▲ 20.0 (105件)	▲ 15.8 (101件)	▲ 24.2 (95件)	▲ 4.4 (113件)	▲ 20.6 (107件)	▲ 9.5 (126件)
合算	▲ 21.2 (292件)	▲ 11.9 (318件)	▲ 16.9 (266件)	▲ 11.9 (312件)	▲ 12.0 (308件)	▲ 12.8 (327件)

直近6回の調査における「業況（自業種の景気動向）」の集計結果の推移を示しています。表の上段の数値はD. I. 値、下段の数値はその時の集計件数を示しています。

他の業種と比較して、小売業は一貫して悪い状況にあります。これまでの調査では、業種により景況判断値が大きく異なる結果となっていました。2018年下半期の調査では、最も業種間の差が無い結果となりました。景況判断値の合算について、二期連続の減少となりましたが、比較的ゆるやかな減少となっています。

3. 業種ごとの集計

①建設業（有効調査書数：51件）

○昨年(1～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？

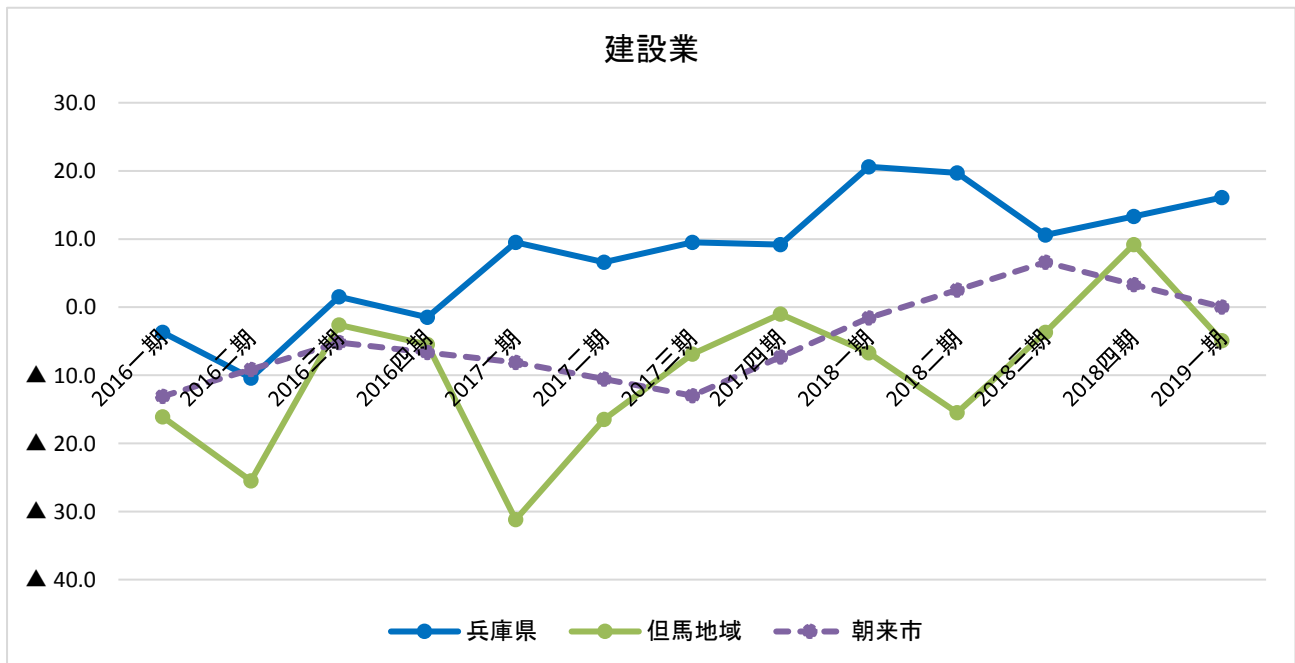
	件数	構成比
好転	8件	15.7%
不変	35件	68.6%
悪化	8件	15.7%

割合としては、「不変」とお答えいただいた事業者が最も多い状況です。「好転」と「悪化」の回答が同数となり、景況判断値は過去2番目に高い数値である『0.0ポイント』となりました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	16.1ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲ 4.9ポイント
朝来市	0.0ポイント

建設業のD. I.を地域別に比較すると、前回調査と同様に、兵庫県の数値が最も良い数値、但馬地域が最も悪い数値となっています。建設業の景況判断値は、製造業と同様に高い水準にあります。

○建設業における地域ごとの景況推移



※朝来市は二期（4～6月）、四期（10～12月）の調査未実施のため、中間点を計上

建設業における地域ごとの景況推移を中期的に見てみると、但馬地域、朝来市で若干の悪化となったものの、前回調査時から引き続き全体的に緩やかな回復基調を辿っていると言えます。特に兵庫県は2016年下半期を底に、安定して回復基調にあります。

○経営上の問題点（建設業－朝来市）

	2017 年下半期	2018 年上半期	2018 下半期	2019 年上半期
1 位	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難
2 位	熟練技術者の確保難	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難
3 位	需要の停滞	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇

経営上の問題点についても 4 回の調査結果を並べています。建設業では 2017 年下半期まで回答に変化が見られなかったのですが、2018 年下半期より連続して「材料等仕入単価の上昇」が問題点としてあげられました。また依然として、雇用の問題が上位にあがっており、多くの事業所で対応が迫られています。

○従業員の雇用について（建設業－朝来市）

【正社員（正規雇用）】

雇い入れを増やしたい	31 件
適正人数である	9 件
雇い入れが過剰である	0 件
雇用していない・しない	11 件

【パートタイマー（アルバイト）】

雇い入れを増やしたい	7 件
適正人数である	15 件
雇い入れが過剰である	0 件
雇用していない・しない	29 件

「経営上の問題点」からも読み取れるように、従業員の「雇い入れを増やしたい」とお答えいただく件数が非常に多い状況にあり、正社員・パートタイマー問わず求められている状況にあります。朝来市の他の業種と比較しても、建設業における雇用者の不足感が最も強い状況が続いています。

②製造業（有効調査書数：61件）

○昨年(1～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？

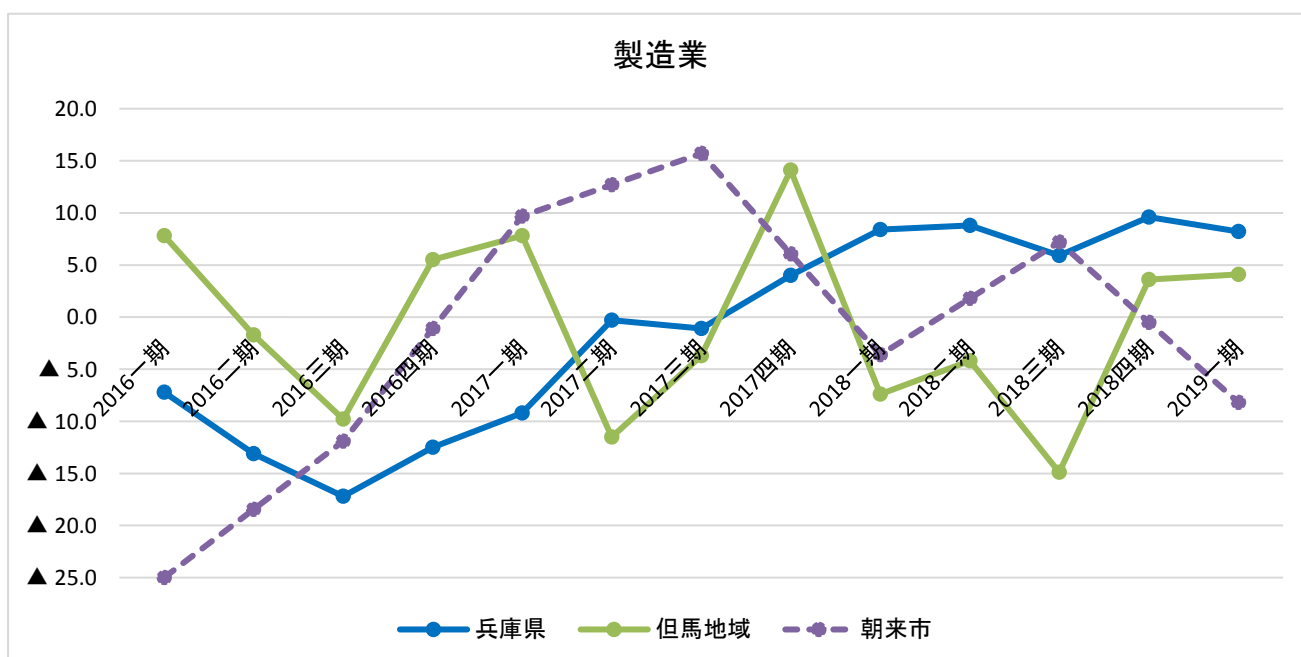
	件数	構成比
好転	13件	21.3%
不変	30件	49.2%
悪化	18件	29.5%

割合としては、「不変」とお答えいただいた事業者が最も多い状況です。「悪化」が「好転」を上回り、2018年一期ぶりにD.I.値がマイナスに転じました。

地域	D.I.
兵庫県 (みなと銀行)	8.2ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	4.1ポイント
朝来市	▲8.2ポイント

兵庫県、但馬地域のD.I.はプラスとなりましたが、朝来市でマイナスとなりました。直近二期について、兵庫県、但馬地域では、安定した推移となりました。

○製造業における地域ごとの景況推移



※朝来市は二期（4～6月）、四期（10～12月）の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県では、安定して右肩上がりの推移が続いている一方、但馬地域では景況判断値が安定していません。但馬地域では2018年三期で、当調査開始以降、最も悪い景況判断値となりましたが、2018年四期、2019年一期と続けてプラスに転じています。朝来市は当期間で再びマイナスに転じ、製造業の景況としては落ち着いてしまった印象を受けます。

○経営上の問題点（製造業－朝来市）

	2017 年下半期	2018 年上半期	2018 下半期	2019 年上半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	従業員の確保難	人件費以外の経費の増加	従業員の確保難	従業員の確保難
3 位	人件費の増加	従業員の確保難	店舗施設の老朽化	人件費の増加

4 期連続で「材料等仕入単価の上昇」が最も大きな問題としてあがっています。次点として、製造業の景況感に陰りが出てきているものの「従業員の確保難」についても 4 期連続であがってきており、根強い問題となっています。もう 1 点の問題点としては、この 4 期を見ると流動的となっており、個々の事業所により抱える問題が異なるものと考えられます。

○従業員の雇用について（製造業－朝来市）

【正社員（正規雇用）】

雇い入れを増やしたい	20 件
適正人数である	29 件
雇い入れが過剰である	0 件
雇用していない・しない	12 件

【パートタイマー（アルバイト）】

雇い入れを増やしたい	21 件
適正人数である	24 件
雇い入れが過剰である	0 件
雇用していない・しない	16 件

「経営上の問題点」からも読み取れるように、従業員の雇用を増やしたいとお答えいただく件数も多く、製造業では正社員だけではなく、パートタイマー（アルバイト）労働者の雇用が求められている状況にあります。

③小売業（有効調査書数：89件）

○昨年（1～3月）と比較して、今期の業況はいかがですか？

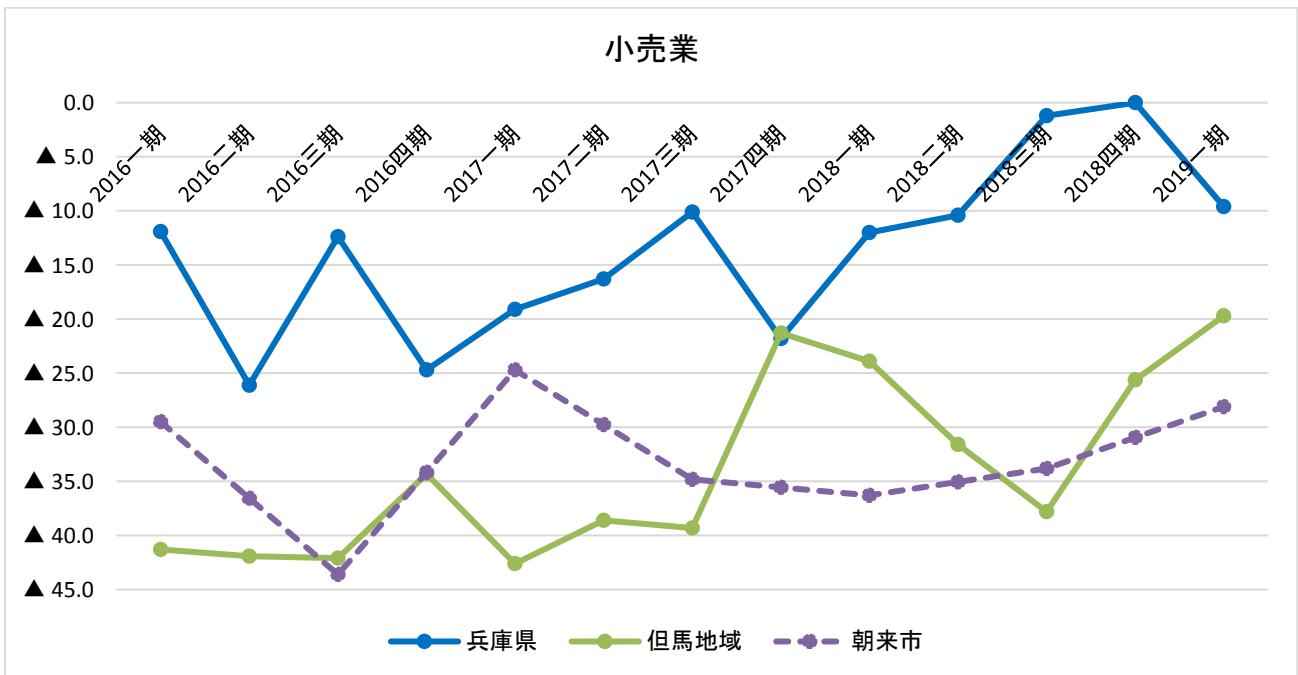
	件数	構成比
好転	11件	12.4%
不変	32件	47.2%
悪化	46件	40.4%

「悪化」の回答割合が多く、他業種と比較しても最も高い割合となりました。一方「好転」の回答も11件あげられたことで、景況判断値は当調査開始以降、2番目に高い数値となりました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲9.6ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲19.7ポイント
朝来市	▲28.1ポイント

前回調査から引き続き、全ての地域において最も悪いD. I. 値を示しているのが小売業となっています。一方で、マイナス値ではあるものの、但馬地域では当調査開始以降、最も高い数値となりました。

○小売業における地域ごとの景況推移



※朝来市は二期（4～6月）、四期（10～12月）の調査未実施のため、中間点を計上

小売業では景況感の移り変わりが激しい状態にはありますが、兵庫県では2018年四期にプラスマイナスゼロを示すなど、中期的に見て右肩上がりの傾向が見られます。また、但馬地域、朝来市地域についても、低い水準且つ緩やかな推移ではありますが、右肩上がりの傾向が読み取れます。

○経営上の問題点（小売業－朝来市）

	2017 年下半期	2018 年上半期	2018 下半期	2019 年上半期
1 位	需要の停滞	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応
2 位	利用者ニーズの 変化への対応	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞
3 位	従業員の確保難	従業員の確保難	店舗施設の 老朽化	従業員の確保難

上位 2 項目については、過去の調査と同様に継続的な問題点としてあげられています。また今回の調査で、再度「従業員の確保難」が上位項目に上がり、景況感の低調はあるものの根強い課題としてあげられています。

○従業員の雇用について（小売業－朝来市）

【正社員（正規雇用）】

雇い入れを増やしたい	14 件
適正人数である	40 件
雇い入れが過剰である	2 件
雇用していない・しない	33 件

【パートタイマー（アルバイト）】

雇い入れを増やしたい	21 件
適正人数である	29 件
雇い入れが過剰である	2 件
雇用していない・しない	37 件

上記の問題点と同様、景況感が芳しくない状況ではありあますが「雇い入れを増やしたい」という事業者も多くありました。また、アルバイトを含め、従業員を「雇用していない・しない」という回答も多くなりました。

④サービス業（有効調査書数：126件）

○昨年(1～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？

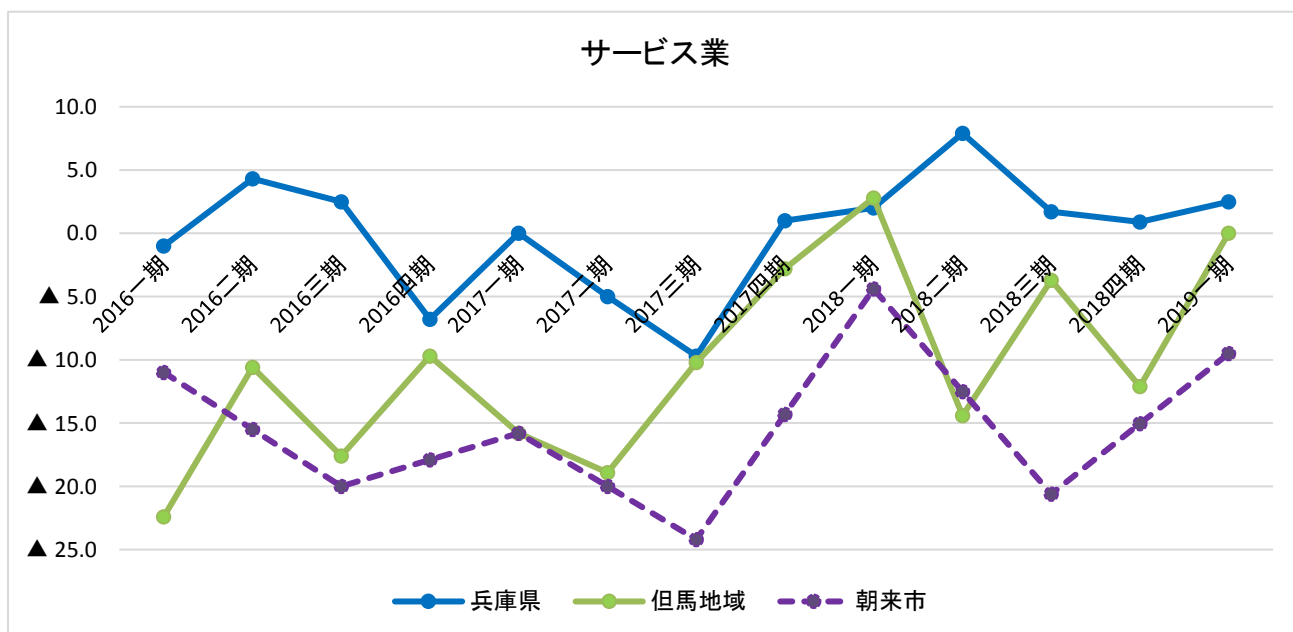
	件数	構成比
好転	23件	18.3%
不変	68件	54.0%
悪化	35件	27.8%

割合としては、「不変」とお答えいただいた事業者が最も多かったものの、「悪化」とお答えいただいた事業者が「好転」より多く、景況判断値は『▲9.5ポイント』となりました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	2.5ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	0.0ポイント
朝来市	▲9.5ポイント

大きな改善は見られなかったものの、3地域ともに前回調査時よりも高い数値となりました。但馬地域、朝来市では、ともに調査開始以降、2番目に高い数値となりました。

○サービス業における地域ごとの景況推移



※朝来市は二期（4～6月）、四期（10～12月）の調査未実施のため、中間点を計上

サービス業では、他業種と比較して景況判断値の変化が最も小さく、地域間の変動に連動性を感じることができます。

○経営上の問題点（サービス業－朝来市）

	2017 年下半期	2018 年上半期	2018 下半期	2019 年上半期
1 位	利用者ニーズの 変化への対応	従業員の確保難	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応
2 位	従業員の確保難	利用者ニーズの 変化への対応	材料等仕入単価 の上昇	材料等仕入単価 の上昇
3 位	材料等仕入単価 の上昇	需要の停滞	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化

サービス業では、経営上の問題点の回答上位項目について、調査ごとに変化を見ることができましたが、今回の調査では前期から変化がありませんでした。なお以下の項目も票数として大差は無く、サービス業の問題点としては「従業員の確保難」「需要の停滞」「人件費以外の経費の増加」「利用料金の低下・上昇難」「人件費の増加」があげられています。

○従業員の雇用について（サービス業－朝来市）

【正社員（正規雇用）】

雇い入れを増やしたい	20 件
適正人数である	46 件
雇い入れが過剰である	2 件
雇用していない・しない	57 件

【パートタイマー（アルバイト）】

雇い入れを増やしたい	26 件
適正人数である	50 件
雇い入れが過剰である	1 件
雇用していない・しない	48 件

「経営上の問題点」でも「従業員の確保難」が4番手にあがってきており、正社員、パートタイマー（アルバイト）共に雇い入れを増やしたいという事業者が多い状況にあります。

(参考) 全データの集計

○経営者、事業主の年齢を教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
20代	0	0	0	0	0
30代	2	5	2	11	20
40代	14	12	16	21	63
50代	17	16	16	23	72
60代	13	16	25	40	94
70代以上	5	12	29	30	76

○事業承継、後継者について教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
まだ考えていない、しばらく必要ない	19	22	35	57	133
後継者は既に決まっている	9	10	15	22	56
後継者はいるが、まだ決まっていない	8	16	17	23	64
候補者が見当たらない	4	5	0	4	13
後継者は必要ない	10	8	12	15	45

○経営状況や今後の方針について教えてください(複数回答可能)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
創業5年未満	1	4	1	18	24
売上・事業拡大	21	26	28	45	120
現状維持	22	27	41	47	137
事業承継への取り組み	10	9	17	23	59
廃業検討	5	5	14	10	34

※廃業を検討される方

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
事業譲渡や引き渡しを検討	1	1	8	1	11
事業譲渡なども、全く考えていない	5	4	10	11	30

○雇用者数について教えてください

【正社員(正規雇用)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	11	13	32	57	113
1人～5人	15	22	38	41	116
6人～10人	9	5	12	13	39
11人～20人	6	5	6	8	25
21人以上	10	16	1	6	33
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	31	20	14	20	85
適正人数である	9	29	40	46	124
雇い入れが過剰である	0	0	2	2	4
雇用していない・しない	11	12	33	57	113

【パートタイマー(アルバイト)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	29	18	41	49	137
1人～5人	20	25	36	55	136
6人～10人	0	7	5	7	19
11人～20人	1	4	4	9	18
21人以上	1	7	3	5	16
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	7	15	21	48	91
適正人数である	15	0	29	125	169
雇い入れが過剰である	0	29	2	0	31
雇用していない・しない	29	51	37	0	117

○平成 31 年 1～3 月と前年同期(平成 30 年 1～3 月)を比較した状況について教えてください

		建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
業況	好転	8	13	11	23	55
	同じ	35	30	42	68	175
	悪化	8	18	36	35	97
売上	増加	18	3	23	3	47
	同じ	19	14	37	20	90
	減少	14	3	4	11	32
販売価格	増加	8	6	5	1	20
	同じ	37	12	50	4	103
	減少	6	2	9	4	21
仕入価格	増加	25	1	3	1	30
	同じ	21	17	5	1	44
	減少	5	2	10	2	19
資金繰り	好転	5	1	2	0	8
	同じ	39	4	1	2	46
	悪化	7	2	4	3	16

○今期の経営上の問題点を教えてください(上位 3 つまで)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
大企業の進出による競争の激化	1	7	21	11	40
新規参入業者の増加	4	7	8	16	35
利用者ニーズの変化への対応	11	9	49	47	116
店舗施設の老朽化	9	13	17	33	72
人件費の増加	11	20	14	23	68
人件費以外の経費の増加	8	14	22	25	69
利用料金の低下・上昇難	1	2	7	25	35
材料等仕入単価の上昇	19	29	19	44	111
金利負担の増加	0	1	1	2	4
事業資金の借入難	6	1	6	5	18
従業員の確保難	30	26	22	32	110
熟練技術者の確保難	21	10	5	13	49
需要の停滞	4	15	35	30	84
その他	4	3	8	17	32